

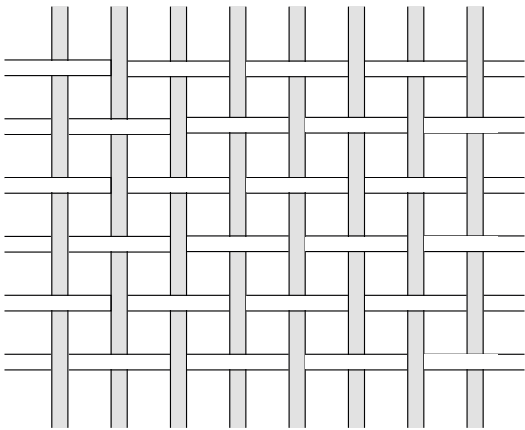
ニット生地 縫製ガイド ライン

ニット生地取り扱いについて

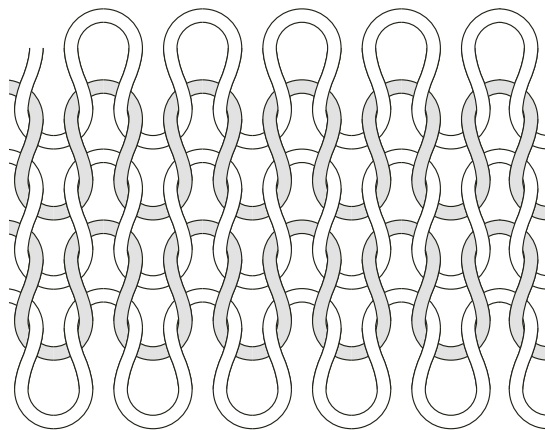
ニット地の室内装飾用テキスタイルは空間を彩る新しい方法をもたらします。現在インテリアの表面素材として最も一般的なものは織り生地ですが、ニット生地は伸縮性に優れていることから、有機的な形状を持つ家具やオブジェに張りやすくなります。

ニット生地はループ構造で糸が動きやすいため、縦糸と横糸の織りに比べてストレッチ性に優れています。ニットの特殊な特性を活かし、加工時に問題が発生することを避けるために、素材について理解することが大切です。織り生地からニット生地に切り替える場合は、思い通りの仕上がりを実現するために、ニット構造がどのように模様大きさや加工に影響を与えるかを考慮する必要があります。

以下の内容はあくまでも推奨事項として参考にしてください。最良の仕上がり为确保するためにも、必ず適切な縫製テストを経た上で生産を行ってください。



織り構造



ニット構造

縫製

ニット生地取り扱いには注意が必要です。縫製工程に入る前に、作業スペースには汚れ、埃、鋭利なものがなく、清潔であることを確認してください。

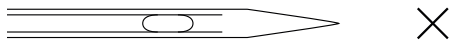
薄いタイプ、ワタ入りタイプを問わず、ニット生地の裁断後は端に沿ってかがり縫いを行ってください。かがり縫いを行うことでワタの入った生地から詰め物が出てくるのを防ぐと共に、扱いやすくなります。

良い仕上がりのためには、適切な針、糸、機械設定を選ぶことが不可欠です。

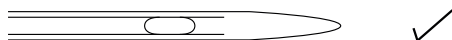
針を選ぶ

必ず先に丸みのある針、できればSUK針を使用してください。先端が丸い針を使用することで、針が生地を突き刺すことなく糸の間を移動することができます。

針はNM100またはNM110をお勧めします。



一般的な針



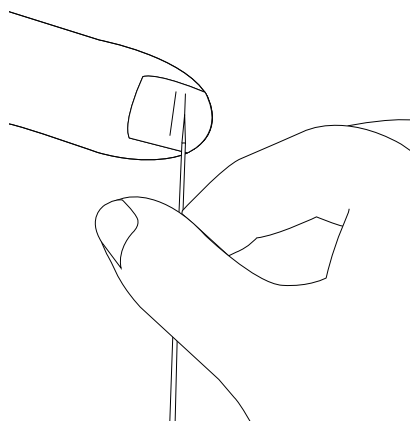
先が丸い針

太い針を使う場合、糸にダメージを与えるリスクが高くなりますのでご注意ください。

ボリュームのあるワタ入りの生地はダメージが生じやすいため、NM 110 SUK針を使用することをお勧めします。

針を定期的に点検・交換することを忘れないでください。針が損傷していると、生地に穴が開く可能性が高くなります。縫い目周りに生じた穴は生地を張った瞬間に目立ちます。

針の状態を確認するには、爪の上に針を優しく走らせます。爪にひっかき傷がついた場合は、針を交換する必要があります。



損傷した針の例

糸を選ぶ

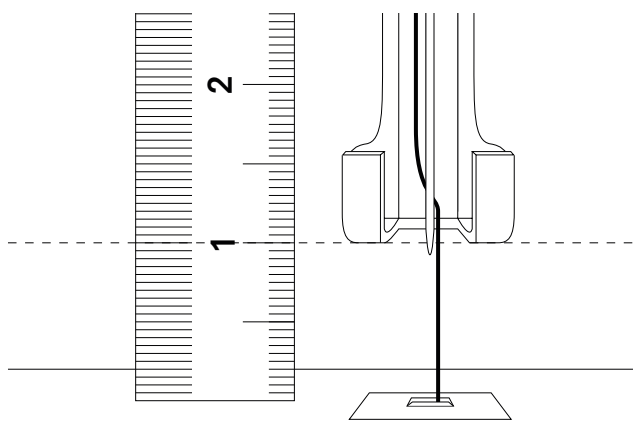
糸の適切な太さは選ぶ針により異なります。本ガイドラインで推奨する針には40/3の糸が適しています。

ナイロン糸またはポリエステル糸を使用することをお勧めします。

機械の設定

ステッチの長さはセンチメートルあたり2.5～3ステッチが適切です。ステッチの長さが短いと縫い目の強度は増しますが、ステッチが短すぎたり、詰まり過ぎていると、特にワタ入りの生地を扱う場合に生地に弱い部分ができる恐れがあります。

下糸の張りは上糸の張りの3～4倍で調整してください。給糸機能は糸立てから引っ張るタイプではなく、自動で給糸するタイプを使用してください。



縫製機械 押さえ/テーブル間の距離

ワタ入りのニット生地を縫製する場合は、押さえとテーブルの間は10mmに設定して十分なスペースを空けることをお勧めします。

ウォールカバリング

ニット生地をウォールカバーに選んだ場合は、必ずパネルまたはスクリーンを使用してください。生地は絶対に壁に直接取り付けないでください。

パネルまたはスクリーンの端に沿ってのみ生地を固定する場合は、生地にかかる張力を考慮してください。張力をかけた状態で取り付けられるのは小さい面(2m x 2m未満)に限られます。貼り付けにステーブルや釘を使用する場合は、端に寄りすぎないように注意してください。生地に小さなダメージを与え、穴が目立つようになります。

面が大きな場合(2m x 2m超)は、2液タイプの水性接着剤を使って生地をパネル/スクリーンに貼り付けてください。接着剤を使用して生地を固定する際は、生地に張りを加えないでください。

生地をパネルまたはスクリーンに取り付ける際は、まず角に生地を固定させてからサイドに沿って貼り付けていきます。美しく仕上がるよう、生地の方向や模様にご注意しながら行ってください。

固定物の切り込みを入れる

壁に固定されているアイテムに合わせて生地に切り込みを入れる必要がある場合は、接着剤を使用して生地を取り付けることをお勧めします。パネルまたはスクリーンを設置する前に切り込みを準備しましょう。生地の表面に張りが加えられた状態だと、正確に切り込みを入れることはできません。

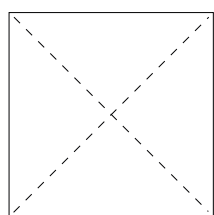
生地表面に切り込みを入れるための推奨方法：

1. カットラインの印を付けます。テキスタイルが伸び、固定物に沿って自然なフォルムを描くよう、カットラインは実際に必要な切り込みよりわずかに短くします。
2. 生地を表・裏両面のカットラインに沿って透明なシリコンを塗布します。カットする際は生地がほどけてこないよう、シリコンが完全に乾いてから行ってください。
3. 切り込みを入れたら、カットした端を背面に向かって折りたたみます。

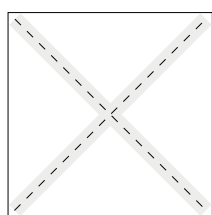
————— 必要な穴の大きさ

■ シリコン塗布エリア

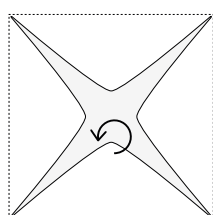
- - - - - カットライン



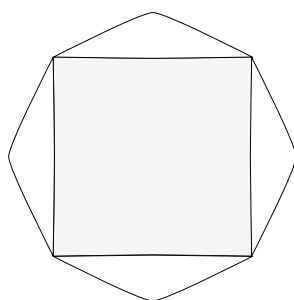
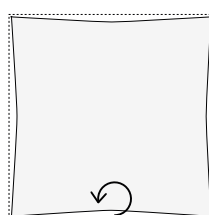
1



2



3



背面図